

まだまだあるよ、  
見沼区の魅力

# もっと!知って!! みぬま



ふむふむ。  
へえー。  
なるほど。

## その1 見沼たんぼにまつわる昔話

ヌウの祖先かもしれない?見沼の主の竜のお話

### 見沼の竜と井澤弥惣兵衛

いざわやそべえ

昔むかし見沼たんぼの沼に、沼の主で、守り神でもある一匹の竜が棲んでいました。江戸時代も中ごろのある日、井澤弥惣兵衛による干拓事業が始まり、沼の水が抜かれ、多くの魚たちが死んでしまいました。守り神でもあった見沼の主の竜は怒りました。

竜は工事をやめさせようと、事故が起きるように仕組んだり、作業員たちに熱を出させてみたりしますが、人間たちは少しも怖れません。

竜は思いあまって若い娘に姿を変え、弥惣兵衛に工事をやめて生きものたちを助けてくれるように頼みにいきます。

けれども弥惣兵衛は、何があっても工事はやり直し、沼をたんぼに変えて、米の収穫を増やさなければならぬと言うのです。

その意志の固さに、竜はとまどいながらも「あなたは、人間さえよければ、ほかの生きものはどうなってもいいというのですか」とたずねます。すると、弥惣兵衛は目に涙を浮かべ、

「生きものはみんな大事だ。わしははるかに遠い利根川から用水を引き、たんぼにも溝にも水を満たす。芝川をぐんと広げ、岸边には木を植える。生きものたちは今よりも暮らしやすくなる。頼む! わかってくれ……」と言い目を閉じます。

不思議なことに、弥惣兵衛を憎む気持ちにならなかった竜は、弥惣兵衛の顔をじっと見つめると、「生きものたちが助かるなら、見沼をこの老人にまかせてみようか」と、長年棲みなれた見沼を明け渡し、嵐を呼んで天に昇っていったのでした。

おしまい



弥惣兵衛は  
見沼区の萬年寺を  
詰所にしていただ  
だつて。

## その2 芝浦工業大学

地域住民の方や子供達との交流を図る、地域と共にある大学です

芝浦工業大学の大宮キャンパスでは、工学部、デザイン工学部、システム理工学部の学生が学んでおり、大学コンソーシアムさいたま\*に加盟しています。

学生プロジェクトや、部活動などの様々な団体が子供向けの講座や、教室を開催したり、地域のお祭りに参加したりと、地域との交流や、街づくりなどの活動をしています。

若い学生さんたちも  
一緒に見沼区を  
盛り上げてくれて  
いるね。



東大宮サマーフェスティバル  
ロボット遊交部からくり

工学女子を育てようプロジェクト



\*大学が有する知的資源を活用した活動を行うとともに、活力ある地域社会の形成及び発展に寄与することを目的に、地域社会の民産学官との連携や交流の促進に関することなどを行っています。